

# 若いパワーで業界発展

## セミナーと新年互礼会

県会  
島業  
工構  
広鉄

広島県鉄構工業会(山本泰徳理事長)は24日、広島市中区のホテルメルパルク広島で事業承継セミナーと新年互礼会を開催した。組合員約50人が出席し、事業承継の重要性について理解を深めるとともに、業界の発展と新年の門出を祝った。

セミナーでは、組合の顧問弁護士を務める久保豊年弁護士(上八丁堀法律事務所)らが事業承継

をテーマに講演し、取り組みの進め方や課題、対応などを分かりやすく解説した。久保弁護士は「事業承継には時間が必要になる

ため早めに動いてほしい。円滑にできれば技術の継承や雇用の確保ができる。地域社会の財産でもある中小企業を永續させ、持続可能な社会を目指す

指している」と呼びかけた。

セミナー終了後、3年ぶりに開かれた互礼会で山本理事長は「昨年の業界は急激な鋼材価格の高騰で、苦しい状況にあった。そのような中、この組合は若返りが進んでおきている。若いパワーで地位と知名度を向上させ、業界を発展させていきたい」とあいさつした。

来賓として、広島県土木建築局の的場弘明総括官(建築技術)、日本建築学会中国支部の中村尚弘支部長、日本建築構造技術者協会中国支部の村瀬忠之支部長が祝辞を述べ、広島大学の松尾彰名誉教授による乾杯の音頭で歓談に入った。

出席者は新型コロナウイルス感染症対策を講じた会場で、楽しいひと時を過ごしていた。



あいさつする山本理事長



セミナーのもよう